

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 107)

団体名	(特非)ありの台	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 黒田 光昭
事業名	ありの台マルシェ開催事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入</small>	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
2025.5.4	有野台商店街周辺	有野台住民約1200人 (スタッフ約30人)	春のありの台マルシェ開催
2025.6.6	有野台会館	(スタッフ18人)	5月のありの台マルシェの反省会と次回企画
2025.8.28	有野台会館	(スタッフ18人)	10月のありの台マルシェ準備
2025.10.19	有野台商店街周辺	有野台住民約1300人 (スタッフ約30人)	秋のありの台マルシェ開催
2025.10.23	有野台会館	(スタッフ13人)	10月19日のありの台マルシェの反省会

< 効果と成果 >

今年度は、春と秋のありの台マルシェの開催という事業で応募いたしました。
 春、秋のどちらも高齢者の外出の機会ともなり、たくさんの来場者でにぎわいました。
 今後は、地域企業の寄付なども視野に入れながら、自立可能な事業にしていきたいと思っております。
 今年は、コープありのが閉店候補となりました。ありの台マルシェを開催すると、商店街に人が集まるため、コープの売り上げが上がります。コープを存続させるために私たちもできることをしようと、6月から9月まで計4回「コープ応援マルシェ」と題して、ミニマルシェを開催しました。キッチンカーと、コープのレシートを持ってくとゲームに参加できるなどの企画で、コープの購買を応援しました。
 これは15時から20時までの開催とし、テーブルと椅子を用意したところ、飲食をしながらゆっくり話ができる機会ができたこと、高齢者の方々に大変好評でした。おかげさまで、コープも閉店の危機を逃れることができました。コープ応援マルシェは、今後も継続していく予定です。

< 今後の展望 >

認証を受けてまだ1年のNPOで認知度も低く、スタッフも高齢者が多いのが現状です。地域を盛り上げるための活動をしていくためには、若いスタッフも必要です。イベントなどの事業の中で、手伝ってくれる人を見つけていかなければと思います。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	3 3 1 , 0 0 0
マルシェ出店料 (5月) 等	2 2 3 , 5 9 0
合 計	5 5 4 , 5 9 0

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	委託費(印刷費)	23,302	23,302
	委託費(デザイン料)	80,000	0
	委託費(会場設営)	125,000	0
	その他(謝金等)	252,400	234,698
	小計	480,702	258,000
	間接経費(一般管理費)	73,888	73,000
	合計	554,590	331,000